

## 【浄泉寺 山門施食会の「報告」】

去る四月十八日、山門施食会法要を厳修致しました。

本年は例年であれば本堂内に設けます施食棚を外に出し、本堂正面で皆様にご焼香いただく法要と致しました。思い切った形での勤めでしたが当日は多くの皆様にご焼香を賜り、無事に円成できましたことをご報告致します。

私をご厄介になっていた可睡斎というお寺では、施食会法要の際に施食棚を本堂の外、扉の外側に張り出す形で設営して法要をしていました。

法要に参加した時、本堂を飛び出した施食棚とその向こう側の外の世界がとても美しく「法要の功德を世の中に廻らしめる」施食会法要の意義そのもののように感じられたものでした。

今回、大幅に省略した形での法要になりましたが幸い天気にも恵まれ、晴れやかな施食会の日を過ごすことができました事をとても有難く、また喜ばしく思っております。

住職 謹白



本堂前に施食棚を設けました

本堂での施食会の法要では、ご本尊様に向き合うように施食棚を設け法要をお勤めします。つまり導師や式衆、御参詣の皆様はご本尊様に背を向けて法要を営むわけですが、これには「お釈迦様のお力添えをいただいで、お釈迦様の代わりにこの法要をお勤めします」という意味があります。

ですので、法要の前には必ずお釈迦様へのご挨拶をしてから施食棚へ向き直り法要が始まります。今回、施食棚を外に設ける前にも略式ではありますがご本尊様にお拝をしてからお勤めを致しました。

## 【施食会法要を配信しています】

曹洞宗青年会「一步の会」にお手伝いいただき、浄泉寺本堂内にての施食会法要を撮影致しました。少々長い動画ですが、さわりだけでもご覧いただければ本堂での施食会法要の雰囲気を感じていただけるかと思えます。



## 【ご来山時の服装について】

先日「お寺に来る時にどのような服装をすればいいのかわからない」とのご質問をいただきました。おそらく皆様も気になっている事かと存じます。

いつも申しておりますようにお墓参りなどに際しては「こつしなさい」というものは「ごさいません」。

法要でお越しになる際にも皆様が気にならないようであれば特別な事をしていたく必要はないのですが、本堂にお参りいただきますので過度な露出などはお避けいただくようお願いしています。

その他、これは服装に限らないことですが法要またはご参拝に際して特別な事情がある場合には、どんな事であってもご相談ください。「無理のない形でのご提案ができるよう努めてまいります」。

## 【住職より】

この歳になってようやくいいいますか、生まれて初めて胃カメラを体験しました。

お正月のおたよりで「自己をならう」という話を致しましたが、言っは易しとはよく言ったものです。胃カメラのレンズに映るものは生まれてから四十年間一緒に同じものを食べて育ってきたにも関わらず、一度も見たことがなければその姿を気にしたこともない、しかし紛れもなく「わたし」の姿でした。

幸い大きな問題もなく無事に検診を終えましたが、お医者様からいただく生活習慣についてのアドバイスのひとつひとつから「いま」の自分を改めて教えていただきました。住職の任をあずかりまして三年目を迎えました。自分のこと、お寺のこと、あるいは世の中のこと。毎日新しいものと出会う日々を過ごしています。

## 【参道修復工事のお知らせ】

檀家基地の通路について、一部舗装の修繕を致します。四月末日～五月中旬の間の数日間ではありますが、お墓参り等少々ご不便をおかけするかもしれません、ご了承ください。

## 釈尊山 浄泉寺

〒193-0944 東京都八王子市館町1234  
TEL:042-661-1621 FAX:042-661-1708  
<https://jousenji-tatemachi.info/>

